

AI/IoT時代のソフトウェア開発ー
ITとOTの会合う場所ー

アジャイル開発での品質向上

アジャイルテスターの役割とは？

株式会社 **ヴェス**

<https://www.ves.co.jp>

V E S は、IT関連製品を中心としたソフトウェアの品質を評価する
“**第三者検証の専門会社**”です。

Validation Engineering Service

設計から検証までのものづくりを支える
第三者検証の“**専門ノウハウ**”

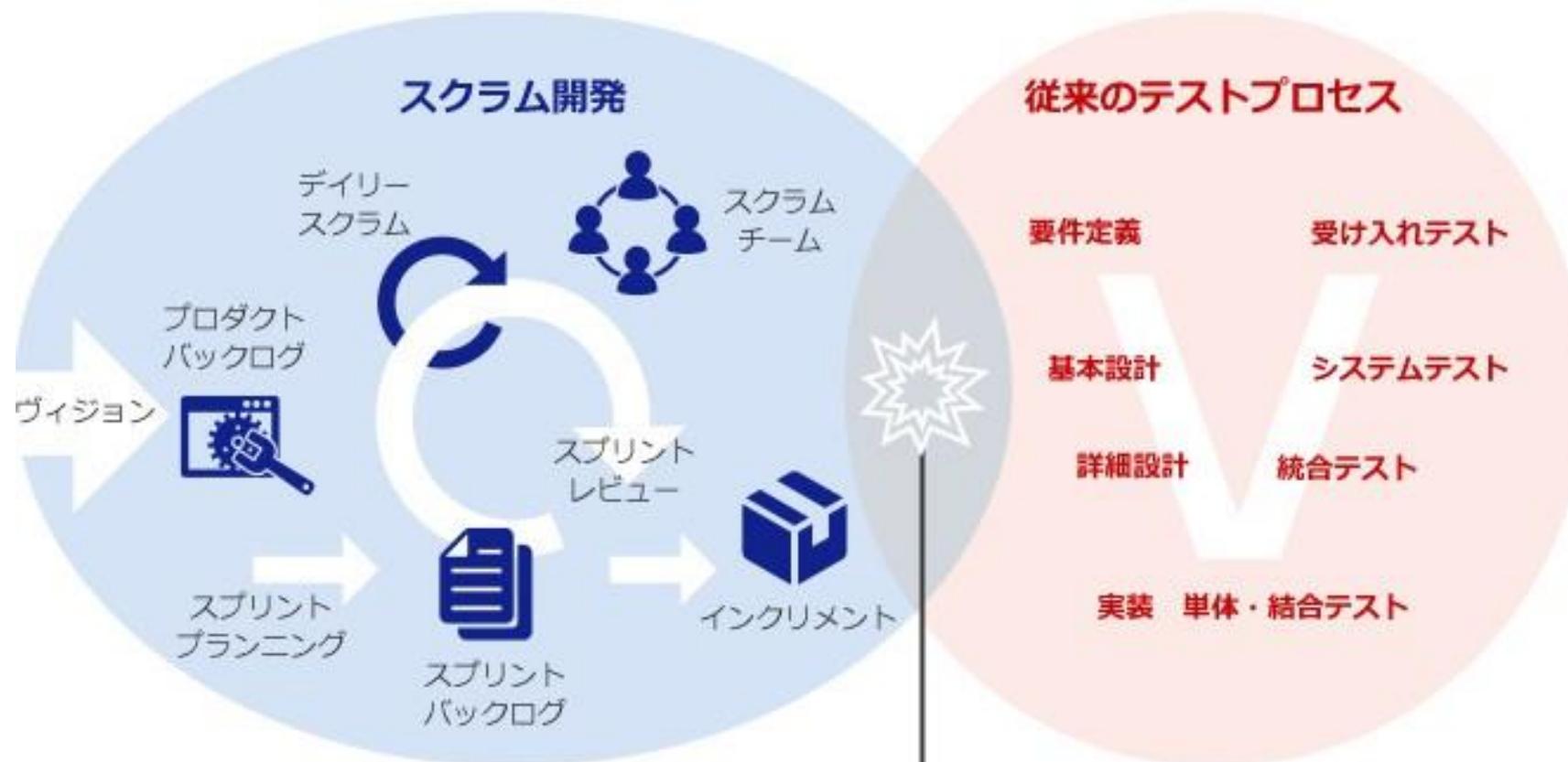
「開発期間／コスト削減」と「ユーザ品質向上」の両立を共に!

製品における機能不具合の発見から、ユーザビリティに関する問題に至るまでの、
“総合的な品質検証サービス”を提供しております。

所在地(東京) 東京都渋谷区恵比寿4-20-3 恵比寿ガーデンプレイスタワー5階
所在地(岩手) 岩手県滝沢市巣子152-409 滝沢市IPU第2イノベーションセンター 研究室2-4
加盟団体 一般社団法人 IT検証産業協会 (I V I A)
東京商工会議所 渋谷区支部

1. スクラムにおける品質保証、テストिंगの問題点
2. 実際のプロジェクトにおける問題と立て直しの例
3. アジャイルテスターの役割とは
4. 問題解決プラクティスと残存課題
5. BizDevOps + QAの今後に向けて

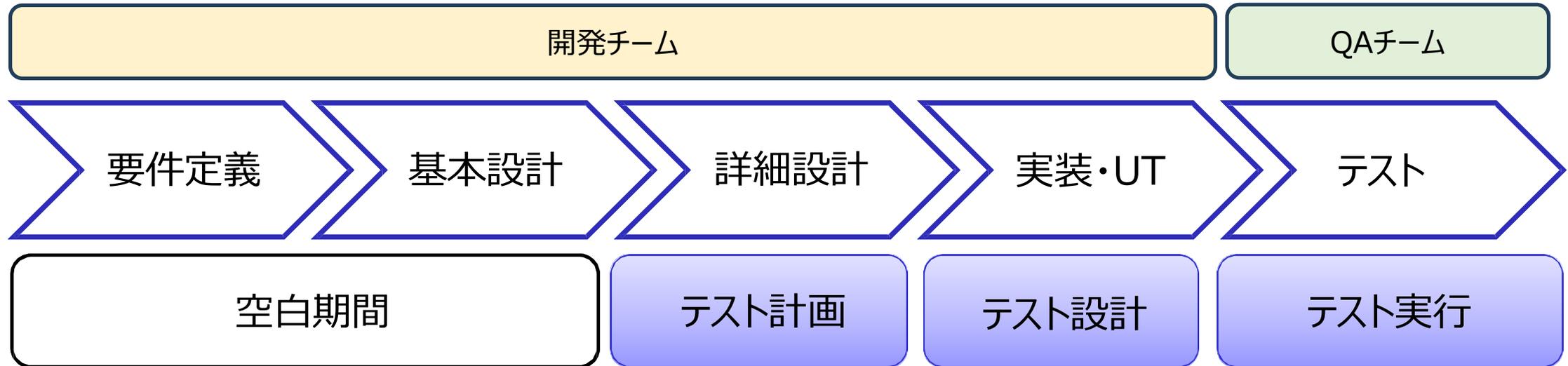
スクラム開発 × “従来の”テストプロセス



プロセス同士のタイミングが異なる
品質レベルに関するコンセプトが異なる

1. スクラムにおける品質保証、テストिंगの問題点
2. 実際のプロジェクトにおける問題と立て直しの例
3. アジャイルテスターの役割とは
4. 問題解決プラクティスと残存課題
5. BizDevOps + QAの今後に向けて

改善前の状況



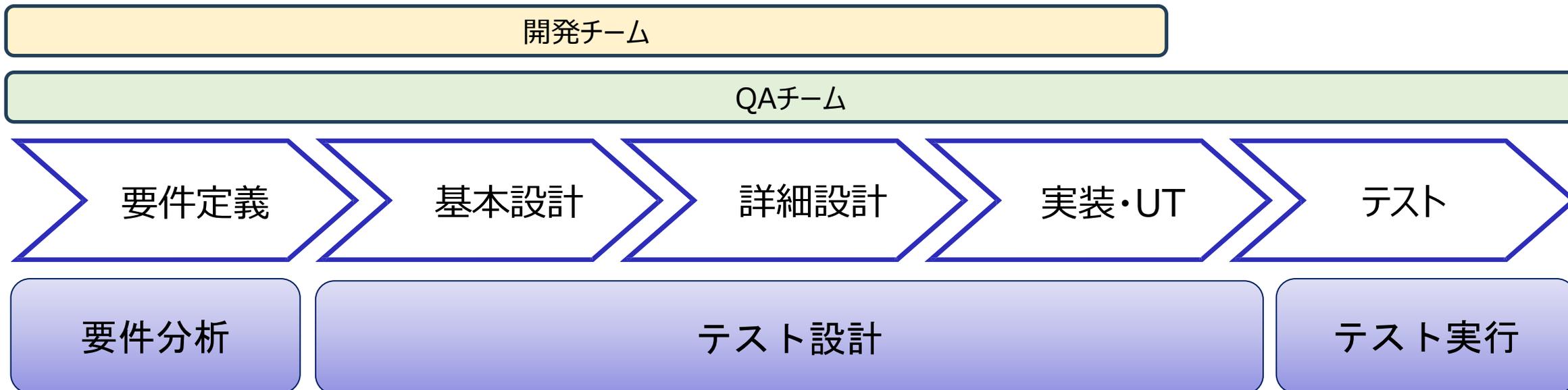
■ テスティングの5W1H

When : 設計後に
Where : QAチームだけがいる日本で
Who : 独立したQAの組織が
What : 構造ベースのテストを
Why : 正しく作られている事を確認するために How
: 設計書・仕様書をもとに

■ 顕在化した問題

1. チームごとの責任範囲と着手時期がずれている
2. 構造を網羅するためのドキュメントが入手できない
3. 変更が多く、テストの内容がいつまでも確定できない・正解が確定できない

改善後の状況



■ テスティングの5W1H

When : 要件定義時点から

Where : QAチームだけがいる日本で

Who : 独立したQAの組織が

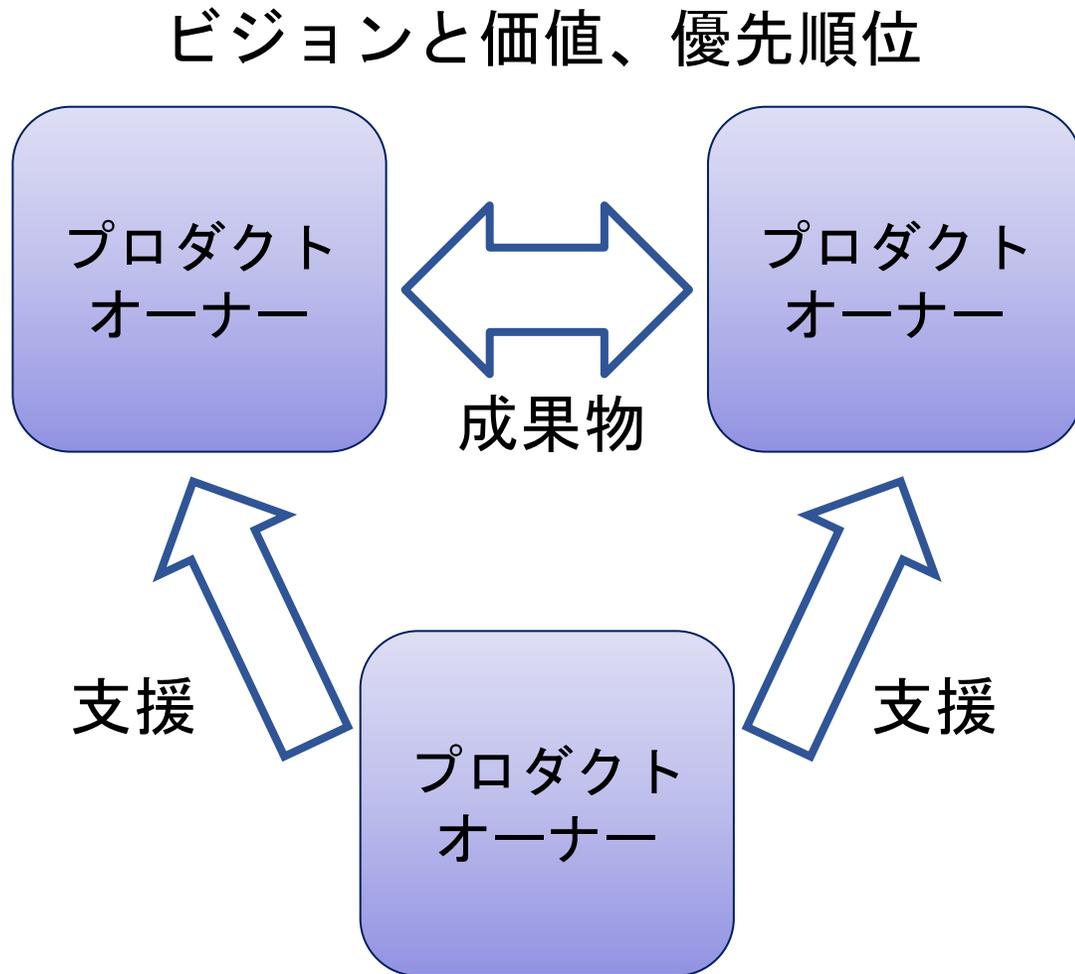
What : 要件ベースのテストを

Why : プロダクトオーナーの要件が実現されているかのために

How : ユーザーストーリーから

実際はこのサイクルが短く回っていく

改善前の状況



開発者

設計・実装・テスト
全てを担う

■ テスティングの5W1H

When : 実装しながら

Where : 開発の現場で

Who : 開発者自身が

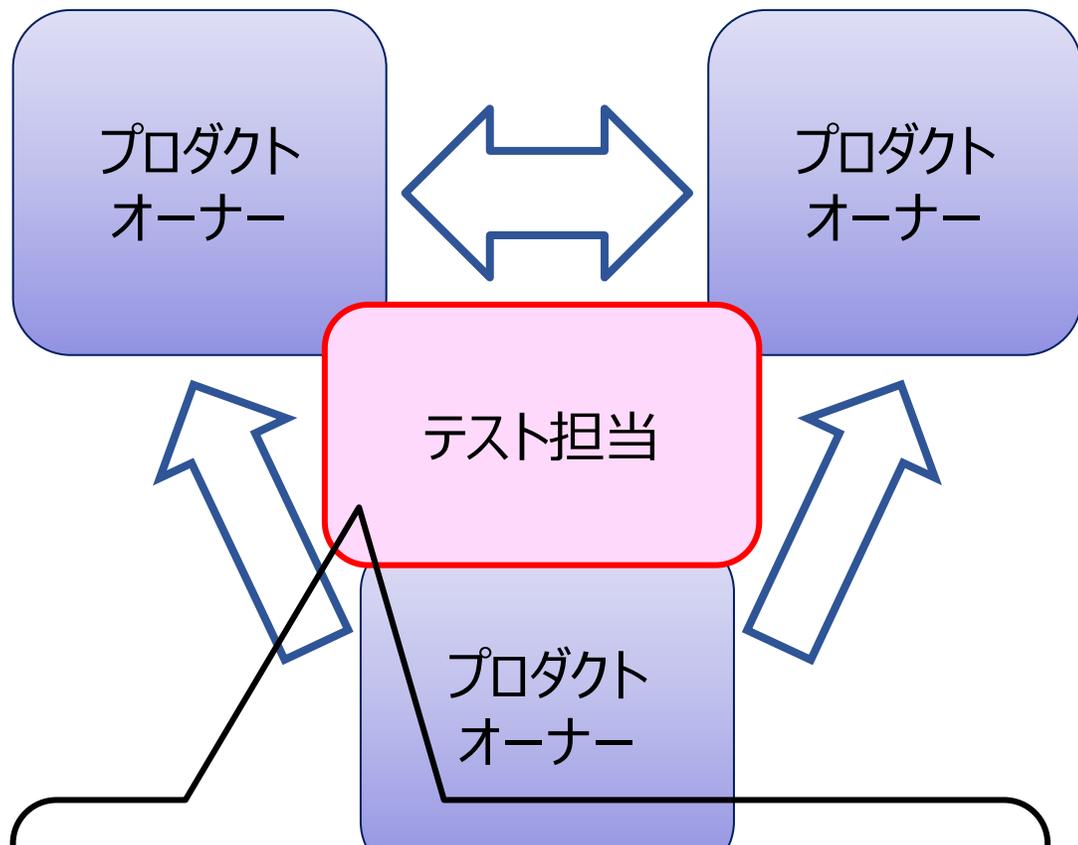
What : 単体・結合テストを

Why : 動作することを確認するために

How : 自身のコードをもとに

規格適合出来ない

改善後の状況



テスト担当者は、要求に対するテスト結果までのトレーサビリティ情報を提供し、エビデンスの管理、テスト結果から得られる品質情報を提供するハブ的な役割

開発者

テスト担当者

エビデンス管理・トレーサビリティ管理
・テスト結果の提供を行う

■ テスティングの5W1H

When : **開発と並行して**

Where : 開発の現場で

Who : **第三者が**

What : **結合テストを**

Why : **要求との整合を確認するために**

How : **バックログから**

1. スクラムにおける品質保証、テストिंगの問題点
2. 実際のプロジェクトにおける問題と立て直しの例
3. アジャイルテスターの役割とは
4. 問題解決プラクティスと残存課題
5. BizDevOps + QAの今後に向けて

■ 事例1つ目のテストの5W1H

When : 要件定義時点から

Where : QAチームだけがいる日本で

Who : 独立したQAの組織が

What : 要件ベースのテストを

Why : プロダクトオーナーの要件が実現されているかのために

How : ユーザーストーリーから

■ 事例2つ目のテストの5W1H

When : 開発と並行して

Where : 開発の現場で

Who : 第三者が

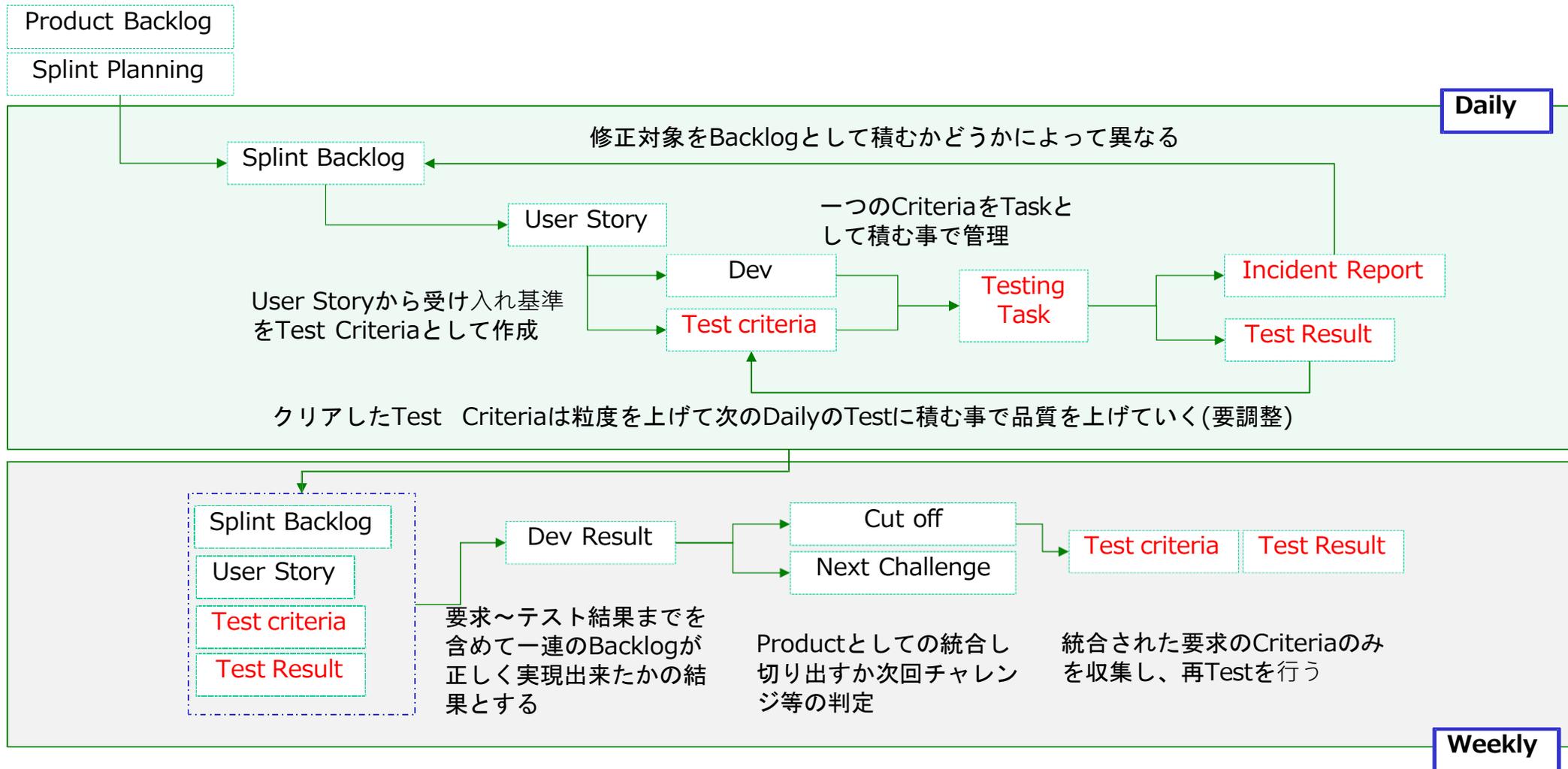
What : 結合テストを

Why : 要求との整合を確認するために

How : バックログから

1. スクラムにおける品質保証、テストングの問題点
2. 実際のプロジェクトにおける問題と立て直しの例
3. アジャイルテスターの役割とは
4. 問題解決プラクティスと残存課題
5. BizDevOps + QAの今後に向けて

- おなじみ
 - ・ バーンダウンチャート
 - ・ KPT
 - ・ かんばん
- 亜流
 - ・ プランニングポーカー（もどき）
- 自己流
 - ・ バックログ（ユーザーストーリー）トレース
 - ・ クライテリアベーステスト（受け入れテスト？）



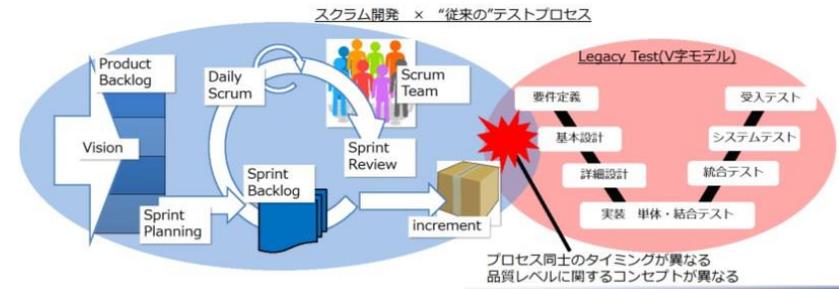
1. スクラムにおける品質保証、テストिंगの問題点
2. 実際のプロジェクトにおける問題と立て直しの例
3. アジャイルテスターの役割とは
4. 問題解決プラクティスと残存課題
5. BizDevOps + QAの今後に向けて

Agile Tester Service

アジャイルテスターのスクラム参加型テスト

スクラム開発におけるテストの不安、解消します

- 「アジャイルテスター」とは
 - テスト技法、アジャイル開発(特にスクラム)に必要なミッションを理解し、チームと共に成果をアウトプットする為のテストを行うエンジニアです。
 - 第3者としてだけではなく、スクラムチームに参加しながらもユーザーを意識した視点を提供する、云わば「**第2.5者**」とも呼ぶべき存在となります。



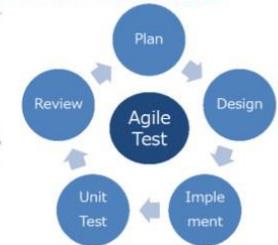
開発の現場で耳にするお悩みやご意見

- テストが必要なのは理解しているが「重い」
- テストチームに提供する為だけのドキュメントは作りたくない
- ステークホルダー間の品質に関する情報共有の仕組みがない
- 気が付くと想定していたレベルのプロダクトが出来上がっていない

必要なのは「リアルタイム性」「可視化」「コンパクト化」です

ヴェスの取組み

- 「品質の番人」型からの脱却
- バックログと成果物の照合を重視
- リアルタイムなモニタリングで情報共有
- 必要なテスト条件の適切な絞り込み
- 「成果の追跡」型へのシフト



ヴェスと共にアジャイルの成功を！

VESは第三者検証専門会社として、お客様の製品の品質向上の為に必要な検証ソリューションを今後も提供して参ります。

本資料をご閲覧いただいた上で、お客様のより良い製品・サービス開発の一助として、弊社の検証ソリューションをご活用いただけますよう、よろしくご検討をお願い申し上げます。

株式会社 **ヴェス**

<https://www.ves.co.jp>

